

鑑賞学習用支援ツール

アート・カード ART CARD

アート・カードとは、道立美術館が所蔵する作品の中から鑑賞学習用に選択した作品画像カードです。学校での子どもたちの鑑賞学習において、さまざまなバリエーションの可能性をもっており、授業や休み時間の遊びなどでの活用が期待されています。カードの特徴をいかした指導案やワーク・シート、作品解説などとあわせて活用することで、子どもたちの学習の幅がますます広がっていくでしょう。

「鑑賞」の指導に当たっては、地域の美術館等の利活用や連携を図るようすることが求められ、図工や美術の教科書には、美術に関連した全国各地の取組や、作家や作品が多く掲載されています。

一方、道内の美術館では、国内外のすぐれた作品や、全国的に高い評価を受けている北海道にゆかりのある作家や作品を多く展示していますが、距離的制約や時間的制約などから、美術館等へ来館して鑑賞の学習を行うことが困難な学校があるのが実情です。

そのため、全道の児童生徒等が、国内外のすぐれた作品や本道ゆかりの作家や作品に親しむことができ、かつ、鑑賞の指導の参考となるよう、北海道教育委員会では、北海道造形教育連盟、北海道教育大学、北海道立美術館と連携して、小・中学校の図工・美術の時間に活用できる鑑賞学習用の支援ツールを試作しました。

平成 28 年度は、渡島・檜山管内において、函館市美術教育研究会の多大なご協力をいただきながら、アート・カードを活用したモデル授業を実践し、その有効性を検証するとともに、地元大学との連携により、新たな鑑賞プログラムの開発を進めています。

今後は、学校・大学・美術館等の一層の連携により、内容の充実を図っていく予定です。

